



パイロット通信2号

平成29年 6月16日(金)

①「学びの変革」全県展開に向けて ～各教科での授業改善～

本校では、生徒授業アンケート結果を分析し、授業研究の前に「授業仮説」をたて、全教職員で授業改善に取り組んでいます。1学期には「1年理科」「1年社会」「1年国語」「1年英語」「1年保健体育」「3年技術」で授業研究を行い、「学習者基点で能動的な深い学びとなる授業づくり」を目指す研修を深めています。

②第2回「学びの変革」パイロット校事業に係る校内授業研究会について

6月16日(金)に第2回校内授業研究会を実施しました。2年生の総合的な学習の時間の授業で「CSW 事前訪問に向けての電話対応」についての授業を行いました。ワークシートを使用し、電話対応の基本を学んだ生徒が、「第一産業」という架空の会社にCSW 事前訪問の

アポイントをとるという設定で授業がスタートしました。営業部役を務めた教頭先生から、「あいにくCSW 担当者は不在です。いかがいたしましょうか。」と予想外のことを言われ、^{びっくり}吃驚してしまう生徒。そのようすを見た担任の水

本先生が「思わぬ返答が返ってきました。さあ、あなたはどうする!？」と生徒に投げかけるところから授業はさらに深まっていきました。「こう言えばいいんじゃないのかな?」「その言い方がいいね、それを使おう!」など生徒はより主体的に考え、話し合いを進めていきました。授業後の研究協議では、「個人で考えても解決しないこともある。このときに出てくる困った感が大切で、学ぶ必然性をつくっていこう。」などという意見が出ました。



当日は、広島県東部教育事務所の西野亘指導主事様、府中市教育委員会の津田典和主査様には、貴重なご指導をいただくことができました。4つのズレを活用して、生徒に課題を発見させる授業を研究していきましょう。



※CSW・・・キャリア・スタート・ウィークの略で、生徒の勤労観、職業観を育てるために、
職場体験を行う学習活動のことをいいます。